



発行所  
**熊本日新聞社**  
 〒860-8506  
 熊本市中央区世安町172  
 ☎代表(096)361-3111  
 © 熊本日新聞社 2017年

**3月26日**  
 日曜日

# 心の復興 アートで育む



## 熊本市の書店で展覧会

東日本大震災や熊本地震の被災者らが創作した、約1200個の布製のマスコットとメッセージを集めた展覧会「つくることは生きることーいま、ここで生きているー2017」が25日、熊本市中央区の葦屋書店熊本三年坂で始まった。31日まで。

### 被災者創作 マスコット 1200点

美術館の元学芸員やカメラマンなどでつくる被災地支援団体「アーツ・フォー・ホー」が、昨年1月から開催している全国巡回展。熊本は10カ所目で最後の展覧会となる。団体はアート表現による心の復興を目指し、東北の仮設住宅や学校などで、被災者と創作活動をしてきた。熊本では益城町、西原村、熊本市で約20回、マスコット作りなどを催した。

会場には、東北を中心に85カ所で作られたハート形や動物の布の造形がずらり。よし、強く生きよう」など被災者の言葉も掲示された。団体の高橋雅子代表(60)は「作品には熊本を応援する気持ちが詰まっている。今後とも全国をアートでつなぐ活動を続けたい」と話している。

(飛松佐和子)

東北や熊本の被災者らが作った1200個のマスコットを集めた「つくることは生きること」展＝25日、熊本市中央区